

みやまの里

(農) 東山茶業組合
静岡県掛川市東山二八二二二
第44号 令和二年新緑

免疫力を上げる緑茶

最近、身近にせまった新型コロナウイルスの脅威に緑茶が効果的であると雑誌に載っていました。(女性セブン3月5日号より引用)



それによりまずと最強食品はホットヨーグルト、納豆、生姜紅茶といかにも体に良さそうな

食品が続きますが、飲み物ではなんと1位は緑茶！緑茶に含まれる何種類かのカテキンのひとつが抗ウイルス作用があり、低温よりも80度くらいの湯温が最も抽出され易いようです。冷たいペットボトルのお茶よりもあったかい急須で淹れたお茶を30分毎にちよこちよこ飲むと良さそうです。白湯健康法もありま

すし、身体を冷やすものより温めるものを摂取する方がよいことは昔から言われてますね。但し、粉末茶ならば低温でも問題ないようです。丁度、当組合でも粉末緑茶の販売を開始しましたのでよろしくお願いたします。

絶滅危惧動植物の保護

東山のシンボル粟ヶ岳には掛川市の指定希少の動植物「カケガワフキバツタ」と「フジタイゲキ」が生息しており、保護地区に12年



前年に指定されており。粟ヶ岳は「茶草場農法」で茶園に敷くために草刈りを長年続けてきましたので「フジタイゲキ」が生育できる環境を維持できたのです。



フジタイゲキは高さ1mほどの多年草で初夏に黄色の花を咲かせ秋には紅葉します。雨上がりの2番茶の頃、とても見事に群生していました。

カケガワフキバツタの羽は短く退化して飛べないので移動範囲が狭いのです。このバツタの学名にはなんとJawagatake(あわがたけ)の文字が入っているから驚きです。

長年にわたり人為的開発による破壊もなく、里山の環境が整っているからのようです。夏、粟ヶ岳頂上の駐車場付近には小さなフキバツタがたくさん見られます。



カブトムシの愛好家

カブトムシ・クワガタ虫の飼育・繁殖を趣味にしている組合員と自慢の虫たちを紹介します。

杉山貞治さん(38才)

ヘラクレスオオカブト



5年程前からクワガタ・カブトムシの魅力に引かれ、仕事の合間、後に飼育しています。卵を産ませて孵化、幼虫、さなぎ、成虫になるまで飼育しています。写真のヘラクレスオオカブト・ゾウカブトは成虫になるまで2年以上かかります。

ゾウカブト



お茶畑の管理と一緒に丁寧な世話をすれば大きく綺麗な新芽(生体)が育つのでその時期が待ち遠しいです。



国産カブトムシすごい数ですね



珍しい「雌雄モザイク」のスマトラヒラタクワガタ・メスでもあり、オスでもある？ 貞治さんはこのクワガタを磐田市の竜洋昆虫公園に寄贈しました